

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立 小山田小学校

校長 西 川 明 里

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

○「開かれた学校づくり」をめざします

「学校づくりビジョン」の実現に向けた学校運営及び学校教育活動の充実について、様々な視点からの意見や考えを交流しあいながら、地域コミュニティづくりを推進します。

○教育活動は学校評価を基点にします

学校関係者評価をより充実させ改善に努め、保護者や地域の方々の想いや願いを反映した学校づくりを推進します。

○「地域とともにある学校」の推進を図ります

学習支援をはじめとして、さまざまな教育活動に保護者や地域の方との活動を継続・発展させます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

- ※ 地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例
- ※ 保護者・地域住民の意見を学校運営や教育活動に反映した事例
- ※ 運営協議会会議運営の工夫の事例

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

【芋づくり】

校舎西の畑で、全校でさつまいもを育てた。畑づくりは地域協力者と教職員で行った。
芋を植える際にも、地域協力者の参加があった



芋掘りはきょうだい学年で協力して行った。



11 月には集会を行い、「重いで賞」をきそったり、各学級から出された「似ているで賞」で楽しんだりすることができた。また、子どもたちは耕作の大変さとともに、収穫の喜びを知ることができた。



【3・5年生のしめ縄づくり】

12 月には、3・5 年生がしめ縄づくりを体験した。

ここでも地域の方に作り方の指導などを行っていただき、子どもたちはしめ縄がきれいにできたことを喜ぶとともに、伝統的な行事を知ることができた。



【ごみゼロ大作戦】

昨年は全校で下校時に取り組み、CS 委員を通して社協青少年部にも協力をいただいたごみ拾い活動を、本年は授業時間内に 6 年生が取り組んだ。昨年度に続き、CS 委員を通して社協青少年部にも協力をいただいた。



【米作り】5年生が自然教室の野外炊事で、自分たちの育てた米で炊いたご飯を食べた。
田植えから稲刈り、脱穀まで、CS委員にご指導いただいた。



【高齢者体験】

CS委員を通して、地域の青山里会の職員の方に来校いただき、4年生児童が様々な機器を使わせていただいて、高齢者の動きづらさなどを体験することができた。



【クラブ活動】

年間4回、クラブ活動支援員によるバトミントンクラブ、卓球クラブの子どもたちへの指導をしていただいた。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- 運営協議会委員自身が学習活動に参加していただくほか、運営協議会委員が地域の方（団体・個人とも）と学校をつないでくださる場面も多かった。そのため、地域の人材を生かした教育活動を行うことができた。
- 運営協議会委員が自分のできることを考えて提案くださったおかげで、感染症感染防止の為の対策を講じつつ、上記に挙げたような教職員だけでは実施の難しい学習活動を実施することができた。

3 今後に向けて

- 新型コロナウイルス感染症感染防止対策は意識しつつ、今年度実施できた活動をもとに、コロナ禍前に行っていた活動についても実施を検討していく。。
- 今まで実施されてきた取組と今年度から始めた活動、さらに来年度も新たに取り組む活動について、子どもたちの成長段階に合わせたカリキュラムマネジメントを実施し、「社会に開かれた教育課程」となるよう、改善に取り組めます。
- 本年度は運営協議会を4回実施した。来年度は、関係者評価の後にもう一度持ち、5回実施していきたい。